

伊藤成八 教育委員再任

9月議会の同意を得て、令和元年10月1日より、伊藤成八さん（上蔦木）が教育委員に再任されました。【任期】は令和元年10月1日から令和5年9月30日までの4年間で、今期が2期目です。よろしくお願います。



新教育長職務 代理者の紹介

10月1日の教育委員会臨時会において、教育長職務代理者が選任されました。

職務代理者 小林 俊一

富士見中学校 白鈴祭

今年も富士見中学校開校以来、10回目の白鈴祭でした。開祭式では、全校ダンスやテーマソングで盛り上がり、全校生徒が一体となりました。

午後の体育祭では、クラス対抗大縄跳び・障害物競争・縦割り綱引きを行いました。生徒も先生も声を掛け合いながら団結しており熱気がありました。生徒会企画の縦割り応援合戦も活気や工夫があり、息がそろっていました。



全校制作「輝く虹」は、アルミ缶収集から制作まで生徒みんなが関わられるようにして、作品を完成させました。

白鈴祭を通して、生徒一人一人の輝く姿がたくさん見られました。



モデルロケット製作体験（本郷小）

諏訪圏6市町村と信州大学工学部が取り組む「SUWA小型ロケットプロジェクト」によるモデルロケット製作体験が10月2日に本郷小学校で開かれ、6年生が参加しました。プロジェクトでは、次世代の人材育成を目的に、小中学生対象のワークショップなども実施しています。

始めに信州大学の中山准教授によるロケット工学のお話を聞いてから、モデルロケットの製作をしました。「丁寧に作れば作るほど上手に飛ぶ」と話があり、児童は細かい作業も集中して、慎重に組み立てをしました。信州大学ロケットクラブや企業の方が各班に入って、細やかに優しく指導をしていました。

校庭での打ち上げ実験では、他学年の児童や先生も集まり、作ったロケットがよい音で発射されると大きな歓声が上がっていました。



令和元年11月1日発行
富士見町教育委員会編集
☎62-9235
kodomo@town.fujimi.lg.jp

11月
定例教育委員会
11月13日(水)
午前9時30分～
役場2階 教育長応接室
傍聴歓迎

子どもに関する
なんでも相談
月曜日～金曜日
午前8時30分～
午後5時15分
☎62-9233
家庭・教育・子育て
相談員

11月17日
(第3日曜日)は
家庭の日・
家庭読書の日

寒くなり、運動不足になりがち
なこの時期、親子で
ジョギングやウォーキング
をし、体力向上と親子の
コミュニケーションにつなげ
ましょう。

就学援助の入学前支給のお知らせ

富士見町では、令和2年4月に町内の小学校、中学校に入学予定の子ども（新1年生）の保護者で、就学援助の要件に該当される方を対象に、就学準備のための新入学用品費を入学前に支給します。
なお、受給には申請が必要です。

【就学援助】 経済的な事情等で子どもの学校生活に関わる費用を支払うことに困難が生じている家庭に対し、その費用を援助する制度です。

【新入学用品費】 カバンや体操着、制服等の入学前に準備する物品にかかる費用です。

【支給予定額】 ・小学校入学予定の子ども（1人当たり） 50,600円
・中学校入学予定の子ども（1人当たり） 57,400円

問 富士見町教育委員会
子ども課 総務学校教育係
☎62-9235

・内容等不明な点がございましたら、右記へお問い合わせください。

令和2年度児童クラブ入所説明会のお知らせ

令和2年度に児童クラブの利用を希望されている保護者の方への説明会を行います。
休業日のみ利用の方や今年度からの継続で利用を希望される方も説明会にご参加をお願いします。
なお、新1年生の保護者は、11月に行われる就学時健康診断の際に説明を行いますので、参加の必要はありません。



【日時】 ①12月17日(火) 午後7時～ 会場：富士見小児童クラブ室
②12月19日(木) 午後7時～ 会場：本郷小児童クラブ室
③12月20日(金) 午後7時～ 会場：境小児童クラブ室

3回のうちのどの会場でも結構ですので、ご都合のつく日にご参加ください。
当日、会場で令和2年度の入所申請書を配布します。

・内容等不明な点がございましたら、右記へお問い合わせください。

問 富士見町教育委員会
子ども課 子ども支援係
☎62-9237

はじめの一歩Part⑦

子育て散歩 <褒めること>

昨年12月、新聞を読んでいたら中学1年生の投書を見つけました。その投書は、「私は、友だちの良いところを見つけるのが大好きです。」という言葉から始まっているものでした。良いところを見つけられると、友だちの新しい部分を見られた気がして、とても気持ちが良いと言うのです。この投書を読んで、私はすごい中学生だなと思いました。ポジティブな生き方の基本がわかっているように思いました。

良いところを見つけるというのは、簡単なようで難しいと思います。すごいこと、立派なことを見つけなければいけないと思うとなおさらです。

でも、そんなに構えなくても良いのです。今まで小学生や中学生と関わってきた経験からすると、全体でなくて部分でも良いのです。わずかな良い点を見つけて認めてあげても、子どもの心は和らげることが出来るのです。

私は、子育てをしている頃、後片付けのできない息子に困っていました。度々叱っているといじけるばかり。でも、その時母が来て「○○ちゃんは、大好きな合体ロボはいつもきちんと箱に入れてるよね。」と褒めの合いの手を入れてくれたのです。確かにそのロボットだけは片付けていました。それから、私も何か褒めることを見つけてみようと思うようになりました。

トイレに、「いつもきれいに使っていただいております。ありがとうございます。」と書いてあると、私たちも気を付けようと思うように、子どもも言い方ひとつでやる気になります。

前述した中学生も、いろいろあって人間不信になっていた時に、母親から「毎日、友だちのよいところを一つ探してきなさい。」と言われたことがきっかけだったそうです。そして、言われたとおりにやってみると、少しずつクラスメートのよいところが見つかってきたというのです。

親は、毎日子どもと関わっていると、気になる事ばかり目につくかもしれませんが、子どもがうれしくなって、やる気を出せるような良い点を探して褒めてみませんか。小さなことでよいのです。ポジティブな見方をすると、子どももより明るい表情になり、生き生きとするのではないのでしょうか。

(家庭・教育相談員 北原八重子)

